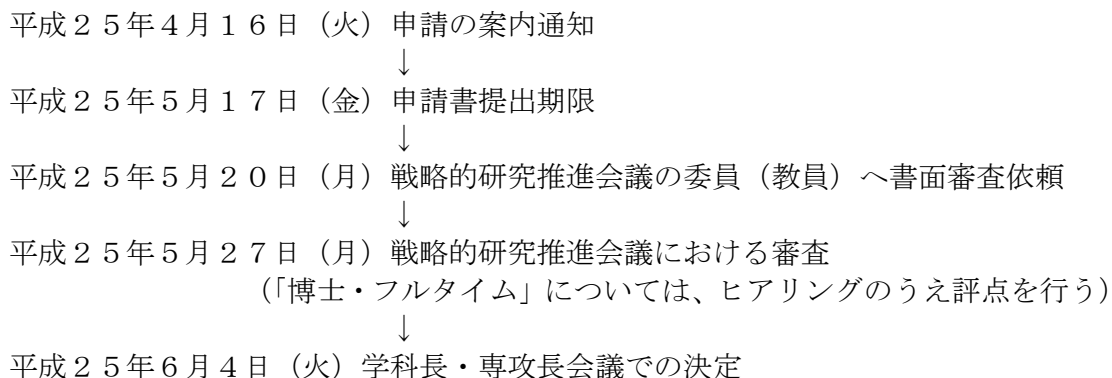


## 平成25年度5月申請10月採用学術研究員雇用支援経費審査要項

### 1. 審査の流れ



### 2. 審査基準

#### I. 評価基準

表2に示す申請書の各項目について、表1のとおり5段階で評価する。

表1 評価の基準

評点区分	評価基準
5	非常に優れている
4	優れている
3	良好である
2	やや劣っている
1	劣っている
—	判定できない

#### II. 評価の観点等

書面審査における評価観点は、表2のとおりとする。

表2 評価の観点等

申請書の項目	評価の観点
研究の目的・目標	①研究の目的・目標が明確であるか。 ②当該分野における本研究の学術的な特色や独創性が認められるか。
研究計画	研究期間内で目的を達成するための具体的な研究計画・方法が適切に設定されているか。
期待される成果・効果	①研究活動の発展が期待できるか。 ②SS評価の業績が期待できるか。 ③特徴ある研究の拠点化が期待できるか。
雇用の必要性・業務	雇用の必要性・業務が明確であるか。
業績	①申請課題に関連する研究業績が十分にあるか。 ②これまでの研究業績が、申請課題に十分に活かされているか。

### 3. ヒアリングについて

「博士・フルタイム」の審査についてはヒアリングを行う。ヒアリングは、1件10分間（説明7分間、質疑応答3分間）とする。

### 4. その他

審査員が自ら応募者になる等、利益相反関係にあたる場合は、当該審査から除く。